

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	林道舗装事業				
所管部局	農林水産部	部局長名	本山 幸一	予算事業名	○林道舗装事業費
所管部署	鏡地域振興課	所属長名	楠本 太	予算事業科目(平成25年度)	010602020184

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け		施策取組方針	森林の育成や利用の促進を図り、森林資源の有効活用を進めるために、林業事業者への支援や林業従事者の確保・育成に取り組むとともに、高性能林業機械の導入を促進します。 また、林道等の道路網の整備を計画的に進めます。
施策の大綱	04 地産の環		
政策	18 山間の恵みを活かす林業の振興		
施策	55 林業の基盤整備		
2 事業の根拠・性格		法定受託事務	
法律・政令・省令	林道規程		
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	高知市過疎地域自立促進計画		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市の管理する林道		
意図	どのような状態にしていくのか	利用区域内的森林資源の適正な管理と利用を図るため、急勾配で軟弱地盤である林道に舗装事業を導入し、路面の保全を図る。		
手段	事業実施体制等	工事は請負、その他(測量、施行管理等)は、直営で施行。	事業開始年度	平成18年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	林道の舗装工事		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	舗装実施延長	林道における未舗装部分に、当該年度に舗装工事を行った延長。	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	舗装実施延長	目標 720	720	543	675	単位:m 総延長19路線29,233.6m(平成23年度以前林道15路線27,049.6m) 平成25年度当初未舗装距離4,998.5m	
			実績 637	797	551			
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	19,700	20,311	19,900	20,000	高知市過疎地域自立促進計画により、20,000千円/年の予算措置	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)	19,700	20,300	19,900		20,000
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	11	0		0
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,872	1,872	1,924	1,924		
		正規職員 (千円)	1,872	1,872	1,924	1,924		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.26	0.26	0.26	0.26		
		正規職員 (人)	0.26	0.26	0.26	0.26		
		その他 (人)						
総コスト=①+② (千円)		21,572	22,183	21,824	21,924			
市民1人当たりコスト (円)		64	66	64		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

林道を舗装することにより、通行の安全性・利便性が向上するとともに、降雨時の路面の洗掘等を防止し、維持管理作業・経費の軽減が図られる。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	林道舗装は、森林整備の効率的化や通行の安全性の向上のため必要であり、本市総合計画に掲げる「山間の恵みを活かす林業の振興」の趣旨に合致している。  市域内における主要な林業施策（保育及び搬出間伐）の実施地を中心に、計画的に舗装事業を実施している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	概ね成果指標を達成している。  林道舗装は、通行の安全性向上や維持管理経費の節減等森林整備の効率化を図ることができ、妥当である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	林業に関する事業では、測量・設計が対象となるが、事業規模等から勘案し、コスト削減が困難であるため、アウトソーシングには適さないと判断する。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	3.0	林道が舗装され、間伐等森林整備が進むことにより、森林の持つ水源涵養や地球温暖化の防止といった公益的機能の確保・向上が図られ、全ての市民が恩恵を受けることとなる。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	17.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	林道は、木材生産及び森林の保全管理を行うための基盤施設である。 林道舗装を実施することにより、利用区域内の森林整備や木材の搬出作業が効率化され、林業振興及びCO2削減等環境面での向上にも寄与することとなる。 今後も事業を継続していくことが望ましいと判断する。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--